



(2) 環境負荷低減

サントリーフーズ株式会社の「サントリー天然水」を大会公式ドリンクとしてPR、提供することで、地域水資源の活用・保護に取り組みました。

(3) 健康増進

サイクルスポーツの普及、自転車活用推進計画の推進を目的として大会PRも兼ねたファンライドを各開催県及び地域団体と連携して開催しました。

また、福岡ステージにおいては九州旅客鉄道株式会社の協力により、大会と連動したウォーキングイベントを開催しました。

(4) DXによる事業推進

K-r o b o t株式会社と地図情報システム(GIS)を開発し、コース設計の効率化を進め、競技車両の位置や交通規制情報を提供しました。会場内キャッシュレス推進のため、株式会社アイティフォーの決済端末を活用しました。

また、ソフトバンク株式会社の「Eutelast OneWeb」を利用し、山間部における映像データ通信を実施しました。

(5) 「令和7年8月豪雨(熊本県) 大分市佐賀関大規模火災」への義援金寄付

令和7年8月、豪雨により熊本県各地に甚大な被害が生じました。被災地の復興を支援するため、大会で販売した有料観戦エリア入場チケットの売上金のうち、144,847円を熊本県共同募金会に寄付しました。

令和7年11月、大分市佐賀関大規模火災により多数の家屋が焼失するなど、甚大な被害が生じました。被災地の復興を支援するため、大会で販売した有料観戦エリア入場チケットの売上金のうち、144,848円を大分県共同募金会に寄付しました。